

59th Anniversary

YOKKAICHI KINEN KEIRIN

中部最強伝説が蘇る

四日市記念



伏見 俊昭
福島・75期

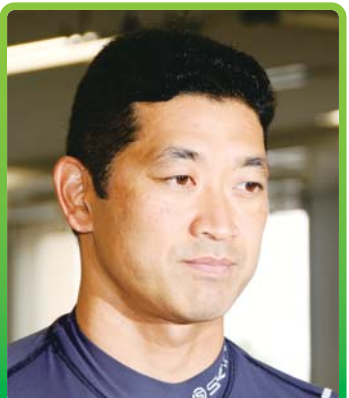
V展望

四日市競輪開設60年記念、泗水杯争奪戦が、11月12日〜15日の4日間開催される。競輪界の頂点に君臨するSS班9名、そしてSS班以上の実力を保持と言っても過言ではない浅井康太と深谷知広の参加がシリーズを盛り上げていく。今年のGIはすでにダービー、高松宮杯、寛仁親王杯、全日本選抜、オールスターが終了している。そのGIホルダーがすべてここ四日市バンクに集結した。その中でもGI Vと今



村上 義弘
京都・73期

や飛ぶ鳥を落とす勢いがあるのは地元浅井。名実共に競輪界の最高峰に立ったと言える今年の活躍は絶賛できる。その浅井がニューモンスター深谷と結束してシリーズリーダーを務める。深谷も戦法に迷い無く、強力なライバルを力でねじ伏せる走りファンを魅了している。全国の四百走路の中でも有数の長い直線を持つ四日市バンクだが、深谷にとっては無関係だらう。浅井は捌きも上手い。キッチリ深谷をガードしてホーム戦GI初Vを決めてくれるはず。この両雄をベテラン山口幸二が盛り立てる。山口が指令塔の役割をこなす。中部トリオが別線完封するシーンが地元ファンに後押しで見られそう。深谷・浅井・山口(賞金でほぼ当確)のパフォーマンスは暮のGPを視野に入れての大事な走りとなるはず。



神山 雄一郎
栃木・61期

この鉄壁中部トリオに一矢を報いると見られるのが福島勢。新田祐大、伏見俊昭、佐藤慎太郎のSSトリオが真向勝負で挑む。何度もある連係実績が福島勢の強味となりそう。その中心となる伏見俊昭は全日本選抜を制し「東日本大震災復興」を表彰台で誓った。新田が打倒深谷! 打倒中部勢と燃えるはず。その心意気に伏見が応えてV奪取のシーンも十分。



長塚 智広
茨城・81期

長塚智広と神山雄一郎を軸に兵藤一也、池田勇人と揃った関東勢。中でもやはり神山の好調は目を見張るものがある。年齢を感じさせない走り、人望が神山の武器。長塚も神山とのタッグとなれば走りごと味違っていないはず。競輪界No.1の自在型と言える長塚が变幻自在な立ち廻りからVの一角へ。南関からは捲りのスペシャリスト海老根恵太、パワー先行松坂洋平が参戦。関東、南関勢の戦力も相当な破壊力を秘めている。

中部三銃士参上!

主役は俺が務める!



浅井 康太
三重・90期

今年の競輪界で最も輝いているのは浅井康太。寛仁親王杯でGIホルダーの仲間入りを果たしたかと思えば、つづく全日本選抜、オールスターと連続優勝。そしてオールスターでは今年2度目のGI制覇の偉業を達成した。10月松阪での共同通信社杯GI IIでは写真判定の準優勝。惜しくも地元ビッグ制覇は逃した。その浅井が満を持してホームバンク、四日市記念に登場する。後輩の柴崎淳はすでに四日市記念を連覇している。もちろんGI Vの浅井の活躍はそれ以上だが、ど

うしても地元記念は欲しいタイトル。今シリーズは超豪華メンバーが集結している。ニューモンスター深谷知広を筆頭に山口幸二、SS班は総勢9名とGIと遜色ない顔ぶれとなった。しかし今の浅井の勢いならどんな強敵が相手でも問題あるまい。最大のライバルは深谷知広。その深谷をオールスターでは別線自力勝負で撃破している。強力な機動力を持つ浅井の最大の強味は自力に加え自在性を兼ね備える事。多彩な攻めも難なくこなす近況は無敵の強さを見せている。深谷が年末のGPを見据えての走りか、山口も浅井との連係実績は抜群。浅井のGI Vの準Vはいずれも山口。かつて中部軍団は競輪界最強を誇った。その頃の風がふたたび競輪界に吹きまくる。念願の四日市記念は浅井にとっては絶対奪取しなければならぬタイトルだ。

王者の風格が漂う



深谷 知広
愛知・96期

高松宮記念杯でデビュー最速GI制覇を達成した「超新星」こと深谷知広。その後も地元、一宮記念Vに、岐阜オールスターで決勝進出と高いレベルで結果を残し続けている。近況は深谷に対する包围網が厳しくなる一方だが、それを打破する並はずれたパワー

中部勢を盛り立てる



山口 幸二
岐阜・62期

最強の支部長にして、中部勢の司令塔としても、トップクラスの戦いで結果を残している山口。今年は3月名古屋ダービー、7月寛仁親王杯で準VとGI最前線で活躍。そして地元・岐阜競輪場で行われた9月オールスター競輪決勝では、連係した浅井康太

に逃げ切りVを許したものの、GI三度の準Vで賞金を上積み。年末のGP出場権をほぼ手中に収めている。今回の四日市記念はGPでの連係も濃厚な浅井康太と深谷知広も参戦。中部勢の高い結束力で、ライン上位独占を狙う。